

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	公園課長	館下 優三
都整-34 樹林維持管理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	公園課
総合計画上の位置付け		分野	みどり	施策の方針
				緑の保全等

1 事業の目的		2 平成26年度に実施した事業の概要		
対象	市民等	古都法等の樹林地について、土地所有者に代わり、対象樹林地を6分割し、毎年度1地区ずつ順番に、市が適正な管理を行っている。 平成26年度は、佐助・御成地区について、樹林が家屋に接し、日常生活に支障があり、かつ危険な樹木の伐採、枝払いや枯損木の処理などの業務を委託した。		
意図	良好な状態の樹林地を保育しようとするため。			
効果	樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。			

3 事業費等基礎データ					
データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人口	世帯数	人口	世帯数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					
運営資源状況	当初予算(千円)	11,119	決算値(千円)	10,854	/
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	11,119	一般財源	10,854	
事業経費運営	人員配置数	0.7	人員配置数	0.7	/
	人件費(千円)	5,406	人件費(千円)	5,284	
	総事業費(千円)	16,525	総事業費(千円)	16,138	
	市民1人当りの経費(円)	93	市民1人当りの経費(円)	91	
対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	申請件数によっては、全てに対応できない場合がある。 古都保存法等の法規制の範囲を6地区に分けて順次実施しており、即応できる体制となっていない。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	できるかぎり申請者と現地で立会い、優先順位を付けて実施した。 国・県への財源確保の要望(みどり課)	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	最近では対象地区の中の最優先箇所の対応に終始しており、維持管理の実施ができていない箇所がある。	
効率性	事業費に削減余地はないか 関連・類似事業との統合はできないか	2. ない 3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	3. 変わらずにある 3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 十分な成果が出ている 4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 昭和63年から古都保存法等の法令等で指定されて一定の土地利用が規制されている区域の樹林については、土地所有者への支援として、より適正な管理を行うことを目的に樹林管理事業を実施している。 全ての申請について実施することは難しい状況であるが、限られた予算で効率的に事業を進めていく。
総評	住民からの申請全てに対応できていない状況であるが、予算の確保に努め、適正な樹林の管理を図る。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	全6地区(6年サイクル)における各年度(地区)の申請件数に対する達成率						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
家屋等に損害を及ぼす恐れのある危険な樹木は市民の日常生活の支障となるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	82.7									
	達成率	82.7%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---